

# 製本のススメ

Vol. 119

春うららかとは行きませんが梅の花も満開で、心華やぐ季節になりましたが花粉症の方にはつらい季節でもありますね。まだまだ東京は三寒四温です。体調の管理はしっかりといたしましょう♪

## 今回は断裁は斜めに切れるの話

社内で製本加工ができる設備をお持ちの会社も多いと思いますが、仕上げ断裁は意外に難しいものです。白紙の化粧断裁ですら気を使いますね。

そもそも刃物の仕組み上 **カットする方とカットされる方**とでは、切り口が違います断裁の刃は片刃になっており(左図 A)

切り落とされる側の切り口は、斜めに切れているのですそのため、ペラなど掛け合わせセンターから切り分ける場合などは(厳密に言えば)片方は切り口が直角には切れていないわけです。

例えば 多面付けのチケットや、チラシのような物であるならば、さほど問題にはなりません、伝票の様な厚みのある物には、必ず**断ち落とし分(ドブ)**をつけておきましょう。そうすれば、斜めにカットされた部分を再度切り直し、まっすぐに整えることができます。

ではどれくらいのドブ幅があれば良いでしょうか？

基本的には、**束厚(1枚ものなら紙厚)と同等程度と覚えてください。**例えば10ミリ程度の伝票冊子ならば、10 ミリが理想ですね。チケットのような1枚で使うものであれば0.1ミリですが、これくらいは気にせずとも良いので、ドブなしということも可能です。

いずれにせよ**多面付けの場合には 用途によってドブの有無 ドブ幅が変わります**ので、多く面付けできるからと 無計画に版をつけるのはNGです。



## Tea break

「暑さ寒さも彼岸まで」春分の日をはさんで前後3日間ずつの一週間を春の彼岸といいます。春分の日は昼夜の長さが同じで太陽が真西に沈むので西方かなたにある極楽浄土にちなんで、この日に仏事を行うことになったそうです。また秋のお彼岸も春同様 秋分の日をはさんだ前後三日間ずつの一週間です。ちなみに、春のお彼岸には「ぼた餅」秋には「おはぎ」です。呼び名は変わりますが、基本的には同じ物です。

弊社ホームページはこちら [www.isekiseihon.com](http://www.isekiseihon.com)

by (株) 井関製本

